

財 産 目 録

令和07年03月31日 現在 (単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
Ⅰ 資産の部						
1 流動資産						
預金						
普通預金（軽費）	西日本シティ銀行城野支店		運転資金として 施設整備積立金含む			37,109,257
普通預金（本部）	西日本シティ銀行城野支店		運転資金として（法人）			25,681,060
	小計					62,790,317
事業未収金	入所者		3月分 個人負担分電気料			100,980
施設整備未収補助金	北九州市		2年度結核予防費			45,942
未収金	職員		3月分職員食事代			37,320
流動資産合計						62,974,559
2 固定資産						
(1) 基本財産						
土地	北九州市小倉南区湯川新町1丁目397番2(733㎡) 397番4(683㎡)		社会福祉法人 湯川会 軽費老人ホーム 清寿園			29,678,171
建物	北九州市小倉南区湯川新町1丁目11番17号	1976年度	鉄筋コンクリート造4階建(1487.47㎡)	215,390,000	190,484,284	24,905,716
	北九州市小倉南区湯川新町397番4	1992年度	グラウンド倉庫(19.50㎡)	4,138,860	4,138,859	1
建物	北九州市小倉南区湯川新町1丁目11番17号	1999年度	1階 医務室、談話室	6,771,450	4,598,773	2,172,677
	小計					27,078,394
基本財産合計						56,756,565
(2) その他の固定資産						
建物	清寿園 3階ベランダ	2001年度	厨房換気扇ファン	456,750	456,749	1
	清寿園 大浴室給湯器	2022年度	大浴室給湯器	1,479,000	206,443	1,272,557
	清寿園 1階	2005年度	ユニットバス設置(個浴)	3,850,000	3,773,000	77,000
	清寿園 全館	2014年度	スプリンクラー	23,992,500	23,992,499	1
	清寿園 事務所	2023年度	火災通報装置	352,000	66,000	286,000
	小計					1,635,559
車輛運搬具	清寿園 駐車場		ダイハツ タント(4人乗り)	1,674,790	1,674,789	1
器具及び備品	清寿園 園内		38件分	12,452,653	10,195,019	2,257,634
ソフトウェア	清寿園 事務所		給与ソフト	806,760	806,760	0
その他の積立資産						
人件費積立資産	西日本シティ銀行		人件費積立預金			10,200,000
施設整備積立資産	西日本シティ銀行		施設整備積立預金			38,600,000
長期前払費用	ダイハツ		ファンカーゴ リサイクル料			9,490
その他の固定資産合計						52,702,684
固定資産合計						109,459,249
資産合計						172,433,808
Ⅱ 負債の部						
1 流動負債						
事業未払金	NTT 電話料					42,097
	神崎会計事務所					33,000
	兵頭社労士事務所					33,000
	昭和イーティング 給食委託					2,489,520
	太陽シルバー					12,265
	ハートメディカル					3,091
	アスクル 文房具					136,226
	麻生メディカルサービス					4,268
	シルバー人材センター 宿直人材派遣					244,280
	入所者 利用料返還金					108,950
	九州電力 電気料					210,236
	片山設計 補修費					133,100
	サンスリー					19,789
	職員給与 本俸					2,019,770
	職員給与 諸手当					468,661
	非常勤職員給与 賃金					175,902
	岡部囑託医 医師手当					50,000
	クラブ講師					12,000

財 産 目 録

令和07年03月31日 現在 (単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	取得年度	使用目的等	取得価額	減価償却累計額	貸借対照表価額
	小計					6,196,155
未払費用	2月、3月分 社会保険料					361,515
賞与引当金	職員夏季期末勤勉手当					2,933,000
預り金	2年度 運営費補助金戻入					617,895
流動負債合計						10,108,565
2 固定負債						
固定負債						
固定負債合計						0
負債合計						10,108,565
差引純資産						162,325,243

(記載上の留意事項)

- ・土地、建物が複数ある場合には、科目を拠点区分毎に分けて記載するものとする。
- ・同一の科目について控除対象財産に該当し得るものと、該当し得ないものが含まれる場合には、分けて記載するものとする。
- ・科目を分けて記載した場合は、小計欄を設けて、「貸借対照表価額」欄と一致させる。
- ・「使用目的等」欄には、社会福祉法第55条の2の規定に基づく社会福祉充実残額の算定に必要な控除対象財産の判定を行うため、各資産の使用目的を簡潔に記載する。なお、負債については、「使用目的等」欄の記載を要しない。
- ・「貸借対照表価額」欄は、「取得価額」欄と「減価償却累計額」欄の差額と同額になることに留意する。
- ・建物についてのみ「取得年度」欄を記載する。
- ・減価償却資産(有形固定資産に限る)については、「減価償却累計額」欄を記載する。なお、減価償却累計額には、減損損失累計額を含むものとする。
- ・また、ソフトウェアについては、取得価額から貸借対照表価額を控除して得た額を「減価償却累計額」欄に記載する。
- ・車輛運搬具の〇〇には会社名と車種を記載すること。車輛番号は任意記載とする。
- ・預金に関する口座番号は任意記載とする。